



信州千曲市あんずの里めぐりウォーク

2015.04.12 12km

緊急時連絡

勝又 健治 080-2619-5762
増田 春恵 090-4119-3056

コース紹介

富士宮よりバスで3時間半、途中双葉SAと姥捨(おばすて)SAでトイレを済ませ、長野自動車道の最終インターチェンジ更埴ICで降り、あんずの里物産館駐車場に着きます。ここでトイレと体操を済ませてウォーク開始です。最初は道路の左側の歩道を歩き、上信越道のガードを抜け、最初の信号機のある交差点で右折して薬師山展望台入口に行きます。片道5分で展望台に到着します。ここからは眼下に広がるあんずの里の風景を満喫できるでしょう。展望台を降りたらあんずの里観光会館でトイレ休憩です。ここではあんずの加工品が販売され、H25. 4. 15に天皇皇后両陛下があんずの里を訪問された時の写真も展示されています。再び平坦な道を歩くと、左右石壁に囲まれた大きな屋敷があります。金比羅神社参道の櫓(けやき)の大木を見ながら沢山川に沿って緩やかな坂道を上がり、あんずの花の香りに浸りながらスケッチパークまで歩き、ここで昼食です。ここには天皇陛下が詠まれた歌「赤き萼(がく)の反りつつ咲ける白き花のあんず愛でつつ妹と歩みぬ」の歌碑があります。妹は「いも」と読み、妻のこと、つまり皇后陛下を指します。午後は観竜寺入口に向かって歩きます。観竜寺は真言宗の古刹(こさつ)でトイレもありますが、上り坂(5分くらい)なので足に不安のある方は入口で待機することも可能です。その後はやや下りの道と沢山川沿いの道を通してスタート時点のあんずの里物産館に戻ります。ここにはあんずの加工食品をはじめとしたお土産がそろっていますのでお買い物を楽しんでください。

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

あんずものがたり

この地にあんずがもたらされたのは元禄時代。伊予宇和島藩主伊達宗利公の息女豊姫が、第3代藩主真田幸道公に輿入れの折、故郷をしのぶよすがにと、あんずを植えたのが始まりといわれている。その後、松代藩では殖産のため奨励し今日の姿になったものである。

コース

往路(バス)

富士宮駅南口 == 甲府南IC == 双葉SA(WC) == 姥捨SA(WC) == 更埴IC
6:00 7:20~40 8:55~9:15
== あんずの里物産館(WC・体操) ==
9:45

ウォーク

あんずの里物産館...薬師山展望台...あんずの里観光会館(WC)~スケッチパーク(昼食・WC)
10:15 11:00~15 11:25~40 12:20~13:10
...観竜寺入口...森食品工業(WC)...あんずの里物産館(ゴール・WC)
13:35~45 15:00

復路(バス)

あんずの里物産館 == 更埴IC == 諏訪湖SA(WC) == 甲府南IC == 富士宮駅南口
15:20 16:10~20 18:00

あんずの里スケッチパーク

貴重なあんずの古木を移植、旧家の門構えを修復し、あんずの里の原風景を再現。庭園内には、自然石を使った「ホタル水路」や「井戸」「母屋」を配置。木造平屋の「母屋」内部は、いりり端を再現した休憩所と地元の芸術家による、絵画、染織作品のほか、地元のあんずを使った特産品を展示した展示館。

観竜寺

信濃三十三番札所第六番、真言宗の古刹、観竜寺。木造千手観音坐像(県宝)、二十八部衆(市文化財)などがある。観竜寺一帯は、自然探勝園に指定され、長野の自然100選にも選定されている。

次回申込 (車内で) せせらぎ・湧水・港ウォーク

☆期 日 4月26日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 8:00
☆参加費 2800円
☆〆切 4月21日(火)